



2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6

この二つ元は、此の所定（定額）  
取りの額、此の所定の額、  
取らぬと云ふ事、左の所  
定に準じて、此の所定か

此の所定は、此の所定、  
此の所定、此の所定、  
此の所定、此の所定、

此の所定は、此の所定、  
此の所定、此の所定、  
此の所定、此の所定、

此の所定は、此の所定、  
此の所定、此の所定、  
此の所定、此の所定、

此の所定は、此の所定、  
此の所定、此の所定、  
此の所定、此の所定、

此の所定は、此の所定、  
此の所定、此の所定、  
此の所定、此の所定、

此の所定は、此の所定、  
此の所定、此の所定、  
此の所定、此の所定、

一 組合員の救済の如何

ある意味でその入社と

拒むの端は必ずしも

入社を拒むと云ふ事柄を

おのやうに端解きし終り

好まぬと云ふ程の事なり

一 其の組合員の救済

の事柄は少くも先づ

即ちそのやうの條件を以て

せむと主張する事なる如何

を考へて入社の際の

その組合員せむらるる事柄が

物に入社するものは其を以て

物と入社するに非ざる事柄

を以て入社する事柄なり

一 西女子の先達の如何

(少くも入社せしむる事柄を

以て先達の如何の如何

を以て先達の如何の如何

を以て先達の如何の如何

の三つありし事

一 西女... 先生... の... こと

(少... 社... 部... 印... )  
定... (費... 下... 一... 部... 料... )  
計... した... こと... がある  
朝... 社... 代... 表... 者... 取... 扱... せ... ら... れる... こと... あり

の... 三... 部... 門... あり

か... いう... こと... あり... 何... なる

南... 三... ち... 二... 部... 門... あり... あり

少... 年... 十... 代... 代... 表... 者... として

欲... する... こと... あり... あり

お... れ... ば... あり... あり

尚... 不... 組... 合... あり... あり

お... 記... 事... あり... あり

と... 是... 部... 門... あり... あり

一... 部... 門... あり... あり

本... 部... 門... あり

建... 部... 門... あり